



キャリア教育の視点を活かした 生徒の主体的な学習を引き出す授業づくり

秋田県立大館鳳鳴高等学校 教諭 肥田 宗友

1 はじめに

長引く不況、雇用システムの変化、グローバル化、情報化、数十年後を見据えた進路指導不足等を原因として、若者の勤労観、職業観が低下してきた。このような背景からキャリア教育の必要性が叫ばれて久しい。当地でも大館ふるさとキャリア教育やキャリアノートの配付をはじめとする様々な取組みが実施されている。しかし、少子化や社会の変化により競争が減り、求めれば与えられることが多くなった社会において、依存傾向は増大しており、主体的に将来を考え、学び、実行している生徒は少ない。本校は地域の拠点校として、生涯学習の基礎となる自主的・自立的精神や高い志をもった生徒の育成を進めている。また、本年度、科学リテラシーと国際性の向上を柱とした新たな計画でスーパーサイエンスハイスクールに指定された。地域を支え、世界へ羽ばたける人材を育成するための一つの取組みとして、キャリア教育による主体的な学習を引き出す授業づくりを試みているので報告する。

2 活動の実際

(1) ALT との生物基礎の授業

① ねらいと方法

国際的に活躍する基盤を築くために、ALT との TT により 1 年生 6 クラスに対し、英語で授業を行った。英語に苦手意識を持っている生徒でも参加しやすくなるように、次の通り実施した。実験の授業とし、中学校で学習した体細胞分裂の観察に高校の内容を加えた。事前の授業で ALT が実験の概要を説明し、当方が日本語で補足した。実験プリントは日本語にして、キーワード等に英訳を付した。

② 結果

アンケートの結果は以下の通りであった。

	5:非常に思う	4:やや思う	3:どちらともいえない	2:あまり思わない	1:全く思わない
Q1: Was the class interesting or fun?	59.8%	37.8%	1.9%	0.5%	0.0%
Q2: Was it useful to have English in the class?	23.0%	43.5%	29.7%	3.3%	0.5%
Q3: Would you like to do another class in English?	26.3%	40.2%	25.8%	5.7%	1.9%
Q4: Did you come to understand cell division?	23.4%	54.5%	20.1%	1.9%	0.0%

「どうしたら良い取組みになるか」との質問に対して、以下の声(一部抜粋)が寄せられた。

- ・単発でなく、継続的に実施する。
- ・生徒各々が意識を高く持ち、積極的に英語を使うようにする。
- ・日本語を使わせない。プリント等も英問英答にする。
- ・様々な教科の ALT を配置したり、ALT と話す機会を増やしたりする。

(2) 授業でのプリント配付

① ねらいと方法

学習意識を改善し、主体性を育成し、将来設計に役立てるために、なぜ勉強しなさいといわれるのかを手始めに、自身を客観視できるデータ、大学進学以降の道筋などを示したプリントを1年生の生物基礎の授業で配付し、体験談を加えて口頭で説明した。また、授業は社会や将来との結びつきや、論理的思考力を身につけさせることを意識した。

② 結果

授業開始から約半年後のアンケート結果と生徒の感想(一部抜粋)は以下の通りであった。

	5:非常に思う	4:やや思う	3:どちらともいえない	2:あまり思わない	1:全く思わない
Q1:学習の意識が改善された	21.5%	59.5%	18.0%	1.0%	0.0%
Q2:主体性の育成に役立つ	43.6%	43.6%	10.8%	2.0%	0.0%
Q3:進路選択を含め、将来に役立つ	38.5%	38.5%	21.5%	1.5%	0.0%

- ・質問したいことが出てくる(興味がわいてくる)授業が好きです。なぜかの答えもしっかり解決することが出来ることも好きです。
- ・習っている分野と社会との関わりについても聞けるので、とても為になるし興味を持てる。
- ・経験に基づいたお話しは楽しみである。どのプリントも便利で気付くことが多々ある。
- ・「もっとやらないといけない」と思うようになりました。

(3) 生徒による授業

① ねらいと方法

(2)の取組みで教員志望者の評価が低い、準備の重要性を認識していない、分かっていることを相手に伝えることが苦手な生徒が多い等の問題があった。主体性の育成のみならず、職業体験、受け身で授業に臨む姿勢の改善、他者に対する説明方法の習得など将来に役立つ力の養成のために、生徒が先生役となる授業を複数回実施した。

② 結果

アンケート結果は以下の通りであった。

	5:非常に思う	4:やや思う	3:どちらともいえない	2:あまり思わない	1:全く思わない
Q1:主体性の育成に役立つ	51.7%	40.5%	7.3%	0.5%	0.0%
Q2:将来に役立つ	52.7%	39.6%	5.3%	2.4%	0.0%



図1. 授業の様子

生徒の感想について、文章は様々であったが、将来に役立つ、主体性が養われる、授業の理解度が増す、質問しやすいなど、肯定的な意見ばかりであった。

3 まとめ

アンケートの結果から、キャリア教育の視点を活かした授業で主体性を育むことは可能だと考えられた。キャリア教育の手法は、学校や教員によって様々であるべきだが、より効果を高めるためには、目的が明確、かつ卒業後だけでなく、数十年後も見通した一貫性のあるキャリア教育の計画、及び各人への指導が必要だと考えられる。多くの人間にとって、キャリア教育を通じた進路決定は、一度しかない人生に大きな影響を及ぼす。その教育に携わる立場であることを念頭に、イノベーションを引き起こせる人材を育成すべく精進していきたい。